

令和元年度進行管理・評価シート
郡上市歴史的風致維持向上計画（平成26年2月14日認定）
（最終変更 令和元年5月31日）

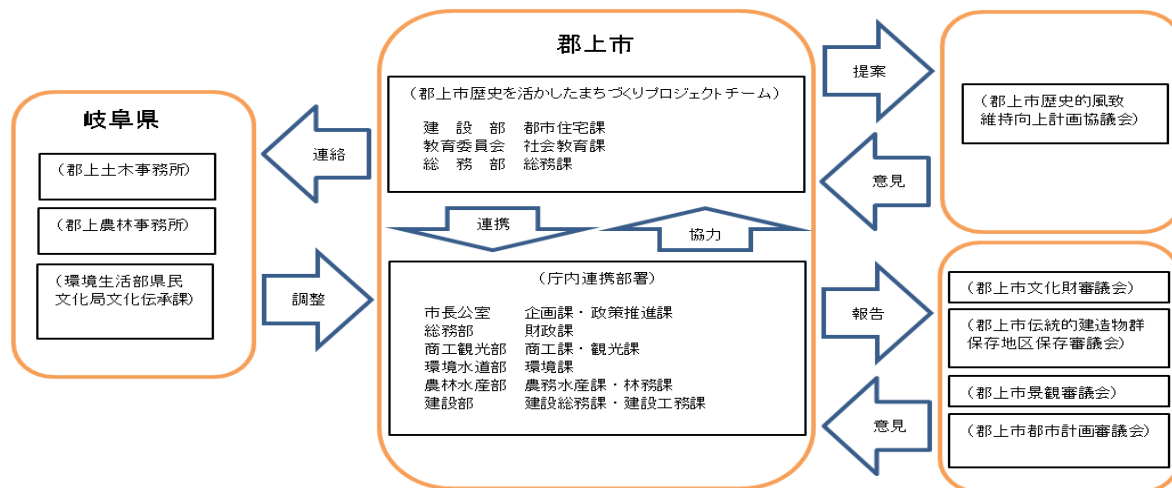
□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 計画実現のための推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 八幡都市計画との連携	2
2 重要伝統的建造物群保存地区との連携	3
3 郡上八幡市街地まちなみづくり町民協定との連携	4
4 郡上市景観計画との連携、屋外広告物に関する規制との連携	5
5 郡上市観光振興ビジョンとの連携	6
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 歴史的風致形成建造物修理修景事業	7
2 歴史的建造物に関する修景助成事業	8
3 郡上八幡北町伝統的建造物群保存地区修理事業	9
4 防災設備整備事業	10
5 郡上八幡北町伝統的建造物群保存地区防災設備整備事業	11
6 電線類無電柱化事業	12
7 街路灯整備事業	13
8 道路修景事業	14
9 ポケットパーク整備事業	15
10 郡上八幡駅周辺整備事業	16
11 伝統的水利用施設整備事業	17
12 由緒書整備事業	18
13 空家利活用事業	19
14 城下町交通体系検討調査	20
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 伝統的しつらえ整備支援事業	21
2 祭礼活動及び用具整備支援事業	22
3 重点区域の文化遺産 記録作成・調査研究事業	23
4 重点区域の文化遺産 情報発信・人材育成事業	24
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 新聞報道	25
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 観光振興対策事業・観光施設整備事業	26

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	27
-------------------------	----

評価軸①-1
組織体制

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
計画実現のための推進体制			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	郡上市郡上八幡北町伝統的建造物群保存地区での事業検討や歴史まちづくりの推進のために、建設部都市住宅課、教育委員会社会教育課などによるプロジェクトチームを結成しており、情報交換とともに各課が協力した施策を展開する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
庁内プロジェクトチームの共通認識のもと関係部局との連携体制を構築し、引き続き歴史まちづくりに関する事業進捗管理、情報収集等を実施した。また、審議会前には打ち合わせの場を設けている。 なお、令和元年度は、都市計画部局で計画管理する都市再生整備計画事業を活用し、文化財部局において郡上八幡まちなみ交流館を整備したため、進捗管理の過程で庁内連携の重要性を再認識することができた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	中間評価の実施に合わせ、これまでの庁内連系体制を検証し、必要な見直しを図る。		
状況を示す写真や資料等			



▲推進体制図

郡上市文化財保護審議会

日 程	内 容
令和元年7月25日	市天然記念物指定解除の諮問について 篠脇城・東氏館跡の調査について 八幡城跡石垣調査について

郡上市伝統的建造物群保存地区保存審議会

日 程	内 容
令和元年8月1日	平成30年度 実績報告について 令和元年度 進捗状況報告について 都市計画事業に関する報告について

郡上市景観審議会

日 程	内 容
令和元年7月29日	郡上八幡まちなみ交流館整備事業について 旧越前屋改修工事について

郡上市都市計画審議会

日 程	内 容
令和元年10月10日	都市計画関連事業現地視察
令和2年1月30日	都市計画事業の進捗状況について 伝建事業等の進捗状況について



▲郡上市伝統的建造物群保存地区保存審議会

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
八幡都市計画との連携			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	策定から概ね20年を迎える八幡都市計画マスタープランの見直しに際し、用途区域の追加、防災計画、交通計画等を地域住民と協働で検討していく。さらに、重点区域における快適な日常生活と四季を通じた観光との調和に配慮しながら歴史的な町並みの保全・整備を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
郡上市歴史的風致維持向上計画及び郡上市八幡都市計画マスタープラン(平成28年4月改訂)に掲げる施策を具現化する各種事業(都市再生整備計画事業、伝建事業等)の進捗状況を報告するとともに、現地を確認した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		(特記事項なし)	
状況を示す写真や資料等			

郡上市都市計画審議会

回数	日程	内 容
第1回	令和元年10月10日	都市計画関連事業現地確認 ・郡上八幡ホテル積翠園改修事業 ・郡上八幡駅舎周辺整備事業 ・市街地南部(防災設備、道路修景等) ・ポケットパーク整備事業 ・郡上市歴史資料館整備事業 等
第2回	令和2年1月29日	(報告)都市計画事業の進捗状況について (報告)伝建事業等の進捗状況について



▲第1回郡上市都市計画審議会の様子

(写真左)市街地南部における道路修景整備事業完成状況の現地確認

(写真右)伝建地区内の建物修理事業箇所の現地確認

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
重要伝統的建造物群保存地区との連携		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容 文化財保護法と郡上市郡上八幡北町伝統的建造物群保存地区保存計画に基づき、建築物や周辺施設の修理や修景を行うとともに、景観向上や防災強化に取り組む。

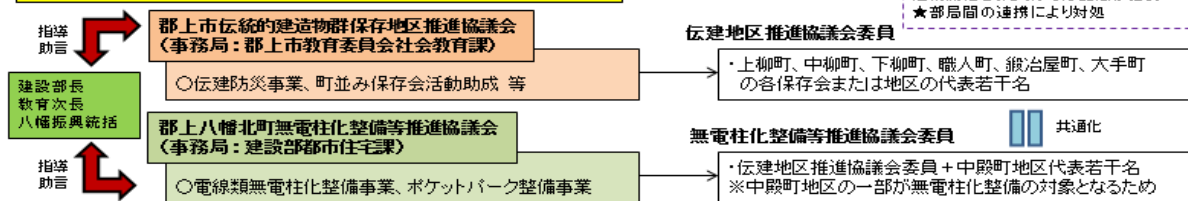
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

各部所管の伝建地区内事業を円滑に推進するため、郡上市伝統的建造物群保存地区推進協議会を1回、郡上八幡北町無電柱化整備等推進協議会を1回開催し、事業推進に係る合意形成を図った。なお、上記2つの協議会委員は、H27年度に無電柱化整備に着手した際に共通化を図り、令和元年度の会議は合同開催により実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	(特記事項なし)

状況を示す写真や資料等

伝建事業・都市再生整備計画事業を推進するための組織体制



▲郡上八幡北町無電柱化整備に着手した時点で協議し決定した組織体制の枠組み

郡上八幡北町無電柱化整備推進協議会 委員構成			
No	地区名	役職等	伝建協
1	上柳町	地区長	○
2		地区選出	○
3		地区選出	○
4	中柳町	地区長	○
5		地区選出	○
6		地区選出	○
7	下柳町	地区長	○
8		地区選出	○
9		地区選出	○
10	職人町	地区長	○
11		地区選出	○
12		地区選出	○
13	鍛冶屋町	地区長	○
14		地区選出	○
15		地区選出	○
16	大手町	地区長	○
17		地区選出	○
18		地区選出	○
19	上殿町	地区長	○
20		地区選出	○
21		地区選出	○
22	中殿町	地区長	○
23		地区選出	○
24		地区選出	○
25	本町	地区長	○
26		地区選出	○
27		地区選出	○

※伝建協=郡上市伝統的建造物群保存地区推進協議会委員

▲協議会委員構成

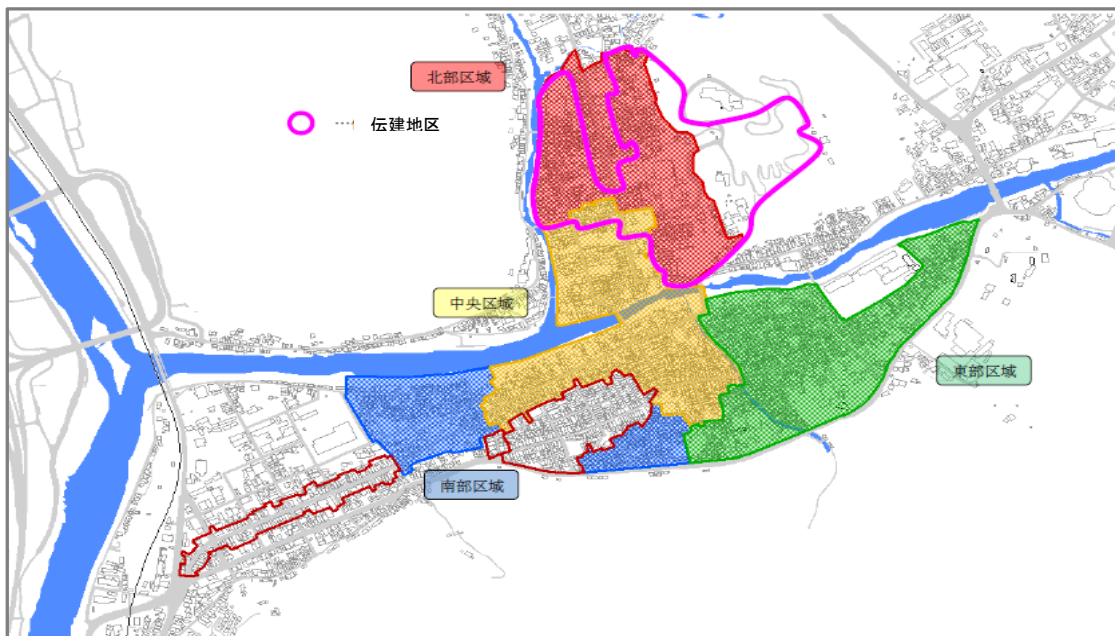
日 時：令和元年6月27日(木) 午後7:30～	
会 場：八幡公民館 2階 研修室	
令和年度 第1回 郡上市伝統的建造物群保存地区保存推進協議会	
1. あいさつ	
2. 役員選出	
3. 報告事項	
(1) 平成30年度 伝建地区修理修景事業 実績報告について	
(2) 平成30年度 防災事業 経過報告について	
(3) (仮称)郡上八幡まちなみ交流館整備事業について	
(4) 伝統的建造物における伝建プレート設置について	
4. その他	
(1) 伝統的建造物群保存地区保存事業補助金について	
5. 閉会	
(引き続き)	
令和年度 第1回 郡上八幡北町無電柱化整備推進協議会	
1. あいさつ	
2. 役員選出	
3. 報告・協議事項	
1. 無電柱化整備事業について	
2. 街路灯整備事業について	
4. その他	
5. 閉会	

▲協議会の合同開催(令和元年6月27日)

評価軸②-3

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
郡上八幡市街地まちなみづくり町民協定との連携		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	「城下町郡上八幡地区」内の中央区域、北部区域、東部区域、南部区域の37地区が協定を締結し、建築物、工作物の新增改築、除却、外観の変更行為に関して住民自らが基準を設けて審査を行い、景観保全を行っている。今後も、この協定を維持し、更に良好な景観形成になるよう取り組む。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
郡上八幡市街地まちなみづくり町民協定に基づく建築物審査件数:14件 町民協定の建物等審査委員会(事務局:郡上市建設部都市住宅課)による適正な誘導が行われ、良好な町並み景観の維持向上が図られた。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		町民協定の有効期間が令和4年5月末である。適正な景観誘導を図るうえで重要な協定であるため、有効期間の延長に向けた住民合意形成を進める必要がある。	
状況を示す写真や資料等			



▲郡上八幡市街地まちなみづくり町民協定範囲（北部、中央、東部、南部の4区域）



▲郡上八幡市街地まちなみづくり町民協定建物等審査委員会による現地審査の様子

(写真左)南部区域の稲荷町地区内の店舗改修に係る現地審査

(写真右)中央区域の本町地区

評価軸②-4

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
郡上市景観計画との連携、屋外広告物に関する規制との連携			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	地域の魅力ある景観とその創出に貢献する活動を、発見・推進し、将来へ守り育てていくため「郡上市景観百景」の認定制度を創設している。また、隔年で郡上市景観賞を実施し、郡上市の景観形成に著しく寄与している認められる建築物、工作物、活動等を表彰することで、景観形成に対する市民意識の高揚と郡上市ならではの個性と魅力あふれるまちづくりの機運を醸成している。重点区域のように本市を代表するような特徴的な景観を有している地区や、住民自らが積極的に景観形成に取り組む地区については、住民等の合意形成に基づき、より重点的に景観形成に取り組む『景観形成重点地区』としての位置づけを目指す。 なお、屋外広告物規制に関しては岐阜県条例を適用しているが、市独自条例を制定する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
郡上市景観百景認定団体の地区景観マニュアルに基づく活動補助:1団体 新規認定は無かったが、景観百景認定を目指す2団体(郡上市大和町、郡上市八幡町)と調整を図った。 屋外広告物許可件数:新規79件、更新126件 景観審議会と連携し、重点区域内で屋外広告物に関する届出等の啓発活動を実施し、住民意識の向上に努めた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	郡上市景観百景の新規認定団体数が減少傾向にあるため、より一層の周知を図る。また、施行から10年経過する郡上市景観計画の定期見直しに合わせ、内部的な調査研究に留まっている屋外広告物の市独自条例についても方向性を再検討する必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
 			
▲郡上市景観百景に認定された団体のマニュアルに基づく活動(郡上市白鳥町:二日町自治会)			
 			
▲屋外広告物制度啓発活動(令和元年9月3日) 重点区域内で実施			
▲郡上市景観審議会の様子(令和元年7月29日) 公共建築物の景観配慮に関する説明			

評価軸②-5

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
郡上市観光振興ビジョンとの連携		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	行政と市民が共に力を合わせて、観光のまちを意識し、自然と歴史・文化を大切に守りながら、本物と個性を磨いて魅力ある町づくりを推進することで、訪れる人に感動を与え、いつまでも愛されて次世代へ継続していくことを目指す。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
郡上市観光振興ビジョンに示す重点区域のまちづくりの方向性に沿った各種事業の展開を図った。 (伝建地区修理事業、まちなみづくり町民協定建物審査、電線類無電柱化事業、空き家利活用事業) ただし、重点区域内における観光振興ビジョン策定後の新たな観光振興対策事業について、庁内一体的な歴史まちづくり推進のため、更なる情報共有が必要である。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		重点区域内の事業に関するより一層の情報共有が必要であるため、推進体制を検証し、担当者レベルの連絡会議を開催するなど、必要に応じて見直しを図る。	

状況を示す写真や資料等



第5章 基本目標に基づく方向性

第5章 基本目標に基づく方向性

1) 歴史と文化にふれるまち郡上

郡上市は、全国的にも大変個性的で魅力ある歴史と文化を育んできた町です。この特色ある歴史・文化を大きな観光資源として、新たな魅力づけを工夫し育て模索しながら活かしていきます。

また、市内の各地域には、地域の歴史や文化を展示、紹介する博物館や資料館が各地域のシンボリック施設として整備されており、これらの施設との連携も行いながら、旅行企画を新規開発する取り組みを行います。

③ 城下町

八幡地域市街地は、近世に遠藤氏が郡上八幡城を築いて以来、城下町として発展し今日を迎えています。

平成24年12月に八幡地域市街地の北町の一部が重要伝統的建造物群保存地区に選定され、平成26年2月には郡上市歴史的風致維持向上計画の重点区域に市街地全体が認定されました。こうした中で、八幡地域市街地の歴史的建造物を地域資源と捉え、保存および活用する取り組みを推進し、魅力ある町家・町並み景観を地域活性化の柱としていきます。

○神社仏閣を活かす企画開発や電線地中化、旧庁舎記念館の壁面塗装など景観に配慮した取り組みによる城下町としての魅力向上の推進。

○日本最古の木造再建築城である郡上八幡城の改修とその登山道の街路灯設置等による城山一帯の整備事業を推進。

○郡上八幡城において郡上歴史物語の実演。

○郡上八幡市街地などの空き家利活用の支援。

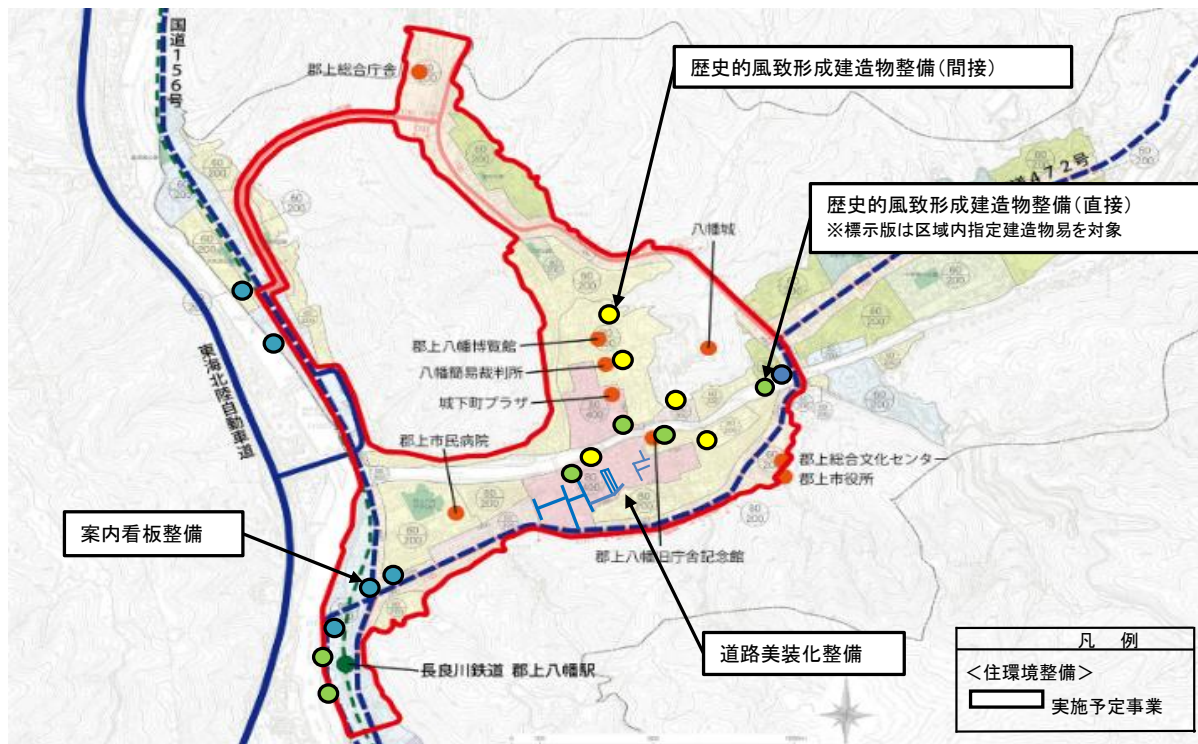
▲第二期郡上市観光振興ビジョン(抜粋)

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
歴史的風致形成建造物修理修景事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成27年度～令和5年度		
支援事業名	市単独事業 ※(予定)令和2年度～令和5年度:社会資本整備総合交付金(住環境整備事業)		
計画に記載している内容	重点区域内において歴史的風致形成建造物を維持・保存する修理に伴う工事費の一部を助成する。 建造物の真正性を確保するため、郡上市歴史的風致維持向上計画協議会において修理基準について協議を行い、ガイドライン等を策定する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和2年度から本格的に着手するため社会資本総合整備計画(住環境整備事業)を作成し、国へ提出した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		歴史的風致形成建造物の指定手続から順に着手するため、令和2年度にはガイドライン策定、指定を遅滞なく進め、助成事業の補助制度要綱を制定する必要がある。	

状況を示す写真や資料等



▲社会資本総合整備計画(住環境整備事業)概要図

街なみ環境整備事業…歴史的風致形成建造物整備(国直接補助)、指定建造物への標示版設置

街なみ環境助成事業…歴史的風致形成建造物整備(国間接補助)



鳥谷用水取水口



旧林療院本館



旧八幡町役場庁舎



長良川鉄道郡上八幡駅 踏切横



長良川鉄道郡上八幡駅 プラットフォーム

▲歴史的風致形成建造物の指定候補(案)／公共等

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
歴史的建造物に関する修景助成事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成27年度～令和5年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 重点区域内において、一般建造物を歴史的町並みに調和させる修景に伴う工事費の一部を助成する。建造物と町並みの調和を確保するため、郡上市歴史的風致維持向上計画協議会において修景基準について協議を行い、ガイドライン等を策定する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

これまでの実績をもとに、助成制度の創設に向けた検討を行ったが、令和2年度から取り組むこととした社会資本総合整備計画(住環境整備事業)の中では、歴史的風致形成建造物のみを助成対象とした。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	歴史的風致形成に資する建造物群としてエリア設定し、歴史的風致形成建造物指定と並行して推進するのが理想であるが、現状は歴史的風致形成建造物の整備を先行して進めるため、追って一般建造物の助成制度に向けた検討を実施する。

状況を示す写真や資料等

指定候補

- ①国登録有形文化財(公共)
- ②国登録有形文化財(民間)
- ③歴史的建造物のうち特に価値の高いもの(国登録有形文化財候補)
- ④その他の歴史的建造物(民間)

歴史的建造物のうち特に価値の高いもの(国登録有形文化財候補)

- ①おもたかや(本町、本町)
 - 「美濃おもたか茶屋」等として活用され、とくにわが国で数少ない事例。
 - 歴史的建造物としての価値が高い。
 - おもたかや、やなかおのこみちなどが近隣に多数存在するなかで位置する。
- ②おもたかや(本町、本町)
 - 「美濃おもたか茶屋」等として活用され、とくにわが国で数少ない事例。
 - 歴史的建造物としての価値が高い。
 - おもたかや、やなかおのこみちなどが近隣に多数存在するなかで位置する。
- ③おもたかや(本町、本町)
 - 「美濃おもたか茶屋」等として活用され、とくにわが国で数少ない事例。
 - 歴史的建造物としての価値が高い。
 - おもたかや、やなかおのこみちなどが近隣に多数存在するなかで位置する。
- ④おもたかや(本町、本町)
 - 「美濃おもたか茶屋」等として活用され、とくにわが国で数少ない事例。
 - 歴史的建造物としての価値が高い。
 - おもたかや、やなかおのこみちなどが近隣に多数存在するなかで位置する。

その他の歴史的建造物(民間)

- ①おもたかや(本町、本町)
 - 「美濃おもたか茶屋」等として活用され、とくにわが国で数少ない事例。
 - 歴史的建造物としての価値が高い。
 - おもたかや、やなかおのこみちなどが近隣に多数存在するなかで位置する。
- ②おもたかや(本町、本町)
 - 「美濃おもたか茶屋」等として活用され、とくにわが国で数少ない事例。
 - 歴史的建造物としての価値が高い。
 - おもたかや、やなかおのこみちなどが近隣に多数存在するなかで位置する。
- ③おもたかや(本町、本町)
 - 「美濃おもたか茶屋」等として活用され、とくにわが国で数少ない事例。
 - 歴史的建造物としての価値が高い。
 - おもたかや、やなかおのこみちなどが近隣に多数存在するなかで位置する。
- ④おもたかや(本町、本町)
 - 「美濃おもたか茶屋」等として活用され、とくにわが国で数少ない事例。
 - 歴史的建造物としての価値が高い。
 - おもたかや、やなかおのこみちなどが近隣に多数存在するなかで位置する。

周辺環境

- ①おもたかや(本町、本町)
 - 「美濃おもたか茶屋」等として活用され、とくにわが国で数少ない事例。
 - 歴史的建造物としての価値が高い。
 - おもたかや、やなかおのこみちなどが近隣に多数存在するなかで位置する。
- ②おもたかや(本町、本町)
 - 「美濃おもたか茶屋」等として活用され、とくにわが国で数少ない事例。
 - 歴史的建造物としての価値が高い。
 - おもたかや、やなかおのこみちなどが近隣に多数存在するなかで位置する。
- ③おもたかや(本町、本町)
 - 「美濃おもたか茶屋」等として活用され、とくにわが国で数少ない事例。
 - 歴史的建造物としての価値が高い。
 - おもたかや、やなかおのこみちなどが近隣に多数存在するなかで位置する。
- ④おもたかや(本町、本町)
 - 「美濃おもたか茶屋」等として活用され、とくにわが国で数少ない事例。
 - 歴史的建造物としての価値が高い。
 - おもたかや、やなかおのこみちなどが近隣に多数存在するなかで位置する。

▲優先エリア1における歴史的風致形成に資する建造物候補(案)



評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
郡上八幡北町伝統的建造物群保存地区修理事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成25年度～		
支援事業名	重要伝統的建造物群保存地区保存修理費国庫補助		
計画に記載している内容	重要伝統的建造物群保存地区において、伝統的建造物等の保存修理等の基準に沿った整備に対し補助を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
郡上市郡上八幡北町重要伝統的建造物群保存地区において、伝統的建造物等の保存修理等の基準に沿った整備に補助(修理:5件)を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	(特記事項なし)		
状況を示す写真や資料等			
修理(建物)   ▲修理前 ▲修理後			
修理(建物)   ▲修理前 ▲修理後			
修理(工作物)   ▲修理前 ▲修理後			

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
防災設備整備事業			■実施済 □実施中 □未着手
事業期間	平成27年度～令和元年度(平成31年度)		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	市街地の防災計画の策定に合わせ、伝統的建造物群保存地区外において災害抑制、地域住民による初期消火、消防隊による延焼遮断等、効果的に防災活動に取り組める設備導入を検討するとともに、修景整備も行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成30年度に着工した耐震性貯水槽1基(40トン級)の整備が完了し、非常時の水利拡充が図られた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	(特記事項なし)		

状況を示す写真や資料等



▲完成状況(郡上八幡市街地南部、下櫛形町地内)



▲施工中の様子

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
郡上八幡北町伝統的建造物群保存地区防災設備整備事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	平成27年度～令和元年度(平成31年度)		
支援事業名	重要伝統的建造物群保存地区保存修理費国庫補助		
計画に記載している内容	重要伝統的建造物群保存地区の防災計画に基づき、災害抑制、地域住民による初期消火、消防隊による延焼遮断等、効果的に取り組める設備導入を検討する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
郡上八幡北町伝統的建造物群保存地区防災計画(平成26年度策定)に基づく公助の取り組みとして、令和元年度は郡上消防署との連携により「文化財防火デー」に合わせた防火訓練及び地域住民による初期消火訓練を実施した。 また、地区向けの自動火災報知設備機器の導入検討を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		引き続き、消火栓増設など伝建地区における防火設備の充実を図る必要がある。計画通り進捗しているが、今後も新たな事業実施の可能性があるので現在の状況を「実施中」とする。	

状況を示す写真や資料等

訓練実施日: 令和2年1月26日



▲水幕ホースを使った防火訓練の様子(下柳町)



▲安養寺本堂を使った防火訓練の様子(下柳町)

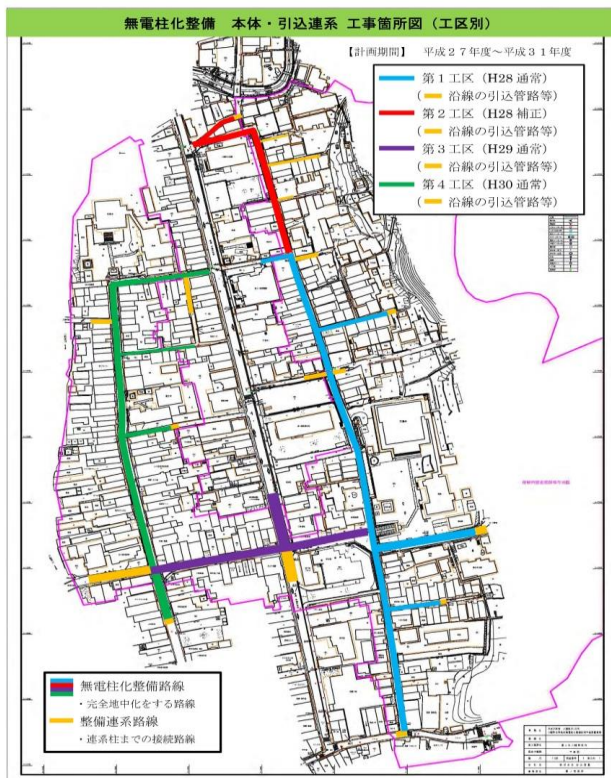

 ▲地元住民による初期消火訓練の様子
 平成30年度に整備した消火栓(写真右端)を利用

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
電線類無電柱化事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成27年度～令和元年度(平成31年度)		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	重点区域内の市道鍛冶屋町柳町線、大手町鍛冶屋町線、殿町柳町1号線の3路線において、景観向上や市街地交通の円滑化とともに、災害発生時の緊急対応能力の向上のため電線類の地中化を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
電線共同溝第4工区工事(職人町～鍛冶屋町、L=410m)、地上機器設置工事が完成し、入線工事、舗装高質化工事に着手した。また、工事の進捗状況等について、伝建推進協議会兼無電柱化推進協議会報告(1回)、伝建審報告(1回)、都計審報告(2回)を実施し、情報共有を図った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	繰越事業となっているため、令和2年度まで事業期間を延長する必要がある。		

状況を示す写真や資料等



▲無電柱化整備計画



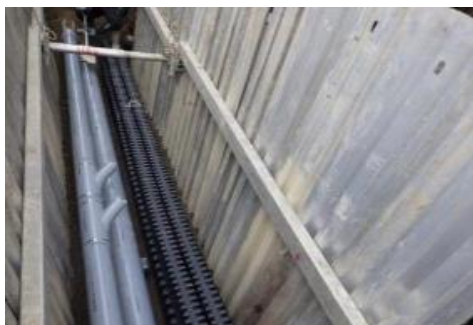
▲完成状況(連系柱、引上管)



▲完成状況(地上機器)



▲完成状況(第4工区管路工事)



▲施工状況(管路 左:通信、右:電力)

評価軸③-7

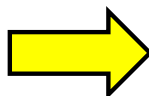
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和元年度
項目		現在の状況
街路灯整備事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成27年度～令和元年度(平成31年度)	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)	
計画に記載している内容	重点区域内の市道鍛冶屋町柳町線、大手町鍛冶屋町線、殿町柳町1号線の3路線において、防犯防災設備向上のため、電線類の無電柱化に合わせて街路灯を整備するとともに、重点区域の景観向上を図る。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
設計成果をもとに、無電柱化推進協議会を開催(1回)し、発注前段階での地元協議を実施した。 また、電線地中化により機能維持が必要となる郡上八幡城下町プラザ照明灯に係る所管課協議を実施(2回)し、設計内容を調整のうえ工事(街路灯:52基、施設内照明設備:一式)を発注した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐計画どおり進捗している ☒計画どおり進捗していない	繰越事業となっているため、令和2年度まで事業期間を延長する必要がある。	

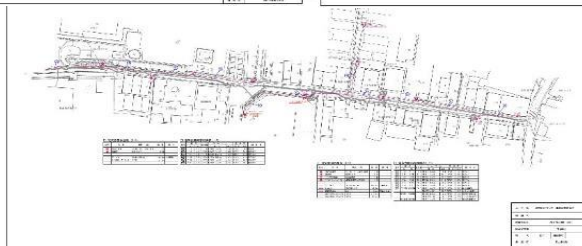
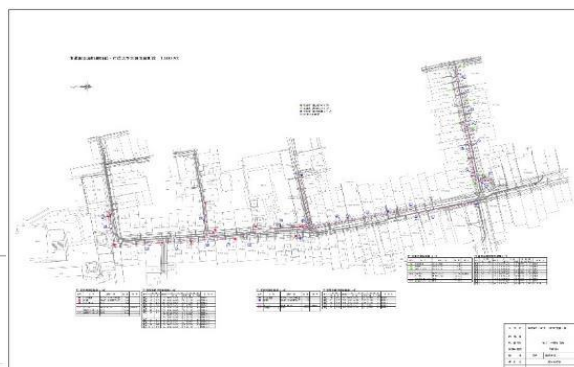
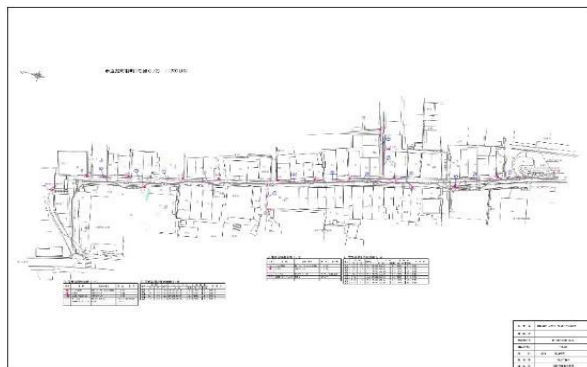
状況を示す写真や資料等



▲現況写真(大手町地内)



▲完成イメージ写真(大手町地内)


 ▲平面図
 (左)上柳町～中柳町
 (中)下柳町

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
道路修景事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成27年度～令和元年度(平成31年度)		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業) ※(予定)令和2年度～令和5年度:社会資本整備総合交付金(住環境整備事業)、市単独事業		
計画に記載 している内容	重点区域内の市道鍛冶屋町柳町線、大手町鍛冶屋町線、殿町柳町1号線の3路線において、重要伝統的建造物群保存地区内の道路が周辺の環境と調和がとれるよう、電線類の無電柱化に合わせて、景観に配慮した道路舗装を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
無電柱化推進協議会(1回)において、近年施工事例が多く施工後の状態が良好であることを確認している舗装を無電柱化区域に用いることを確認し、舗装高質化工事(L=1,500m、A=6,350平米)に着手し一部(L=53m、A=400平米、通常のAs舗装)が完了した。また、重点区域内の市道1路線(柵形・立町線、L=195m、A=750平米)において修景整備を実施したほか、令和2年度から活用する社会資本総合整備計画(住環境整備事業)に、重点区域内の修景整備計画を盛り込んだ。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		無電柱化区域の舗装は、無電柱化整備事業と連携し進める必要がある。また、新たに社会資本総合整備計画を提出したため、事業期間を令和5年度まで延長する。	
状況を示す写真や資料等			



▲着工前(城山登り口)



▲一部完了(城山登り口) ※通常のAs舗装



▲着工前(柳町) ※下段のようなカラー舗装



▲着工前(柳町) ※下段のようなカラー舗装



▲ショットブラスト工法参考写真

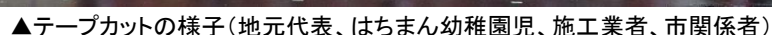
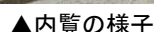
◆カラー舗装を施す路線は、土系色の骨材を混ぜた舗装合材により舗装し、その後ショットブラスト工により表面処理を施して完成となる。

(写真解説)

路線中心から右側はショットブラスト加工前
 路線中心から左側はショットブラスト加工後

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

状況を示す写真や資料等

[illegible]

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
郡上八幡駅周辺整備事業			■実施済 □実施中 □未着手
事業期間	平成27年度～令和元年度(平成31年度)		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	長良川鉄道 郡上八幡駅に付属する施設の整備(バリアフリー化)や、駅前ロータリーの改修を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成29年春の駅舎周辺整備完成後、(一財)郡上八幡産業振興公社が管理運営する「郡上八幡駅舎カフェ(観光案内所)」は、飲食販売、農産物販売、レンタサイクル、マンホールカード配布場所などの機能を兼ねており、令和元年度までの3年間で約56,000人(50人／1日)が入場し、長良川鉄道利用者のみならず、車両で訪れる来訪者の案内所や近隣住民の憩いの場としても利用されており、整備効果が現れている。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない		(特記事項なし)	

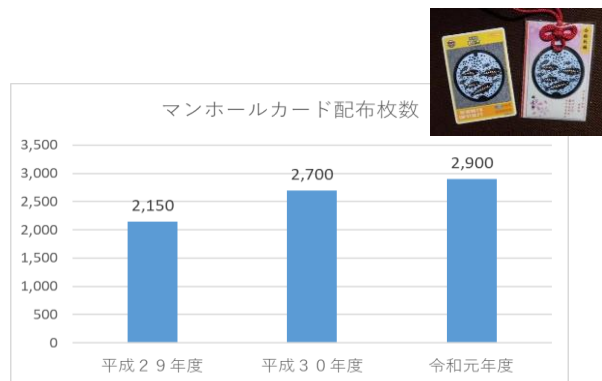
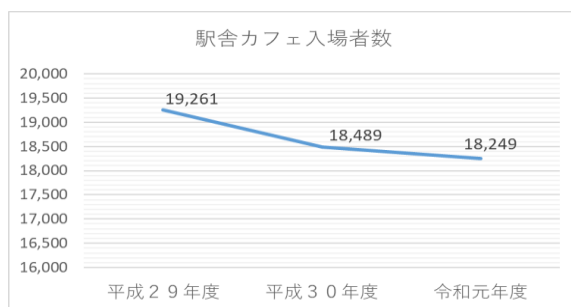
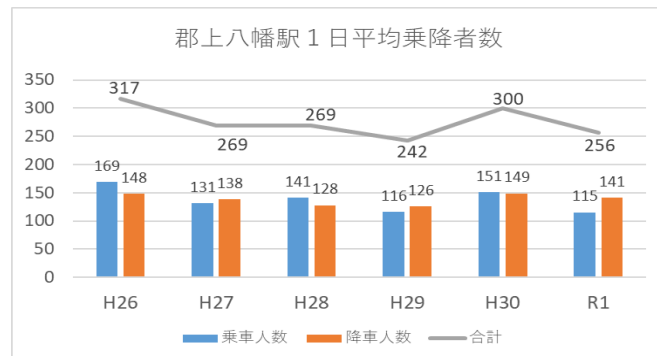
状況を示す写真や資料等



▲駅舎外観(ロータリー側) 駅舎カフェ



▲駅舎(プラットフォーム側)

▲集客の仕掛けが多数ある駅舎正面
ご当地キャラ「GJ8マン」顔出しパネル
レンタサイクル、野菜直売コーナー

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
伝統的水利用施設整備事業		☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成25年度～令和元年度(平成31年度)		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	個人・自治会が所有する伝統的水利用施設の修景整備費に対して補助金を交付し、水環境施設の保全を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
島谷用水を起点とし市街地南部へ導水する圧送ポンプ管路施設(ポンプ1基、管路606m)を整備完了し、防災担当課及び消防団八幡方面隊本部分団を対象とした操作説明会(1回)を開催し、運用体制の連携を図った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	伝統的水利用施設の修理修景整備に対する補助制度は、社会資本整備総合交付金(住環境整備事業:街なみ環境助成事業)による歴史的風致形成建造物施策に引継いで実施する。		
状況を示す写真や資料等			
 ▲完成状況(ポンプ施設受電設備)  ▲完成状況(ポンプ・配電盤)  ▲完成状況(配管:学校敷地内)  ▲完成状況(配管:市道～国道256号へ)  ▲完成状況(配管:乙姫川横断)  ▲完成状況(国道256号歩道側溝で開放)			

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
由緒書整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成25年度～令和元年度(平成31年度)

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 伝統的水利用、郡上踊、大神楽に関する由緒書、活動紹介を設置する。(仮称)城下町郡上八幡案内サイン等整備ガイドラインを作成し、景観に配慮しながら分かりやすい案内板を設置する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重点区域内の歴史的風致(水のまち郡上八幡、郡上踊、大神楽)に関する多言語由緒書看板について、公共施設への整備を中心とした第一期工事(N=14基)が完成し、民地等への整備を含む第二期工事(N=42基)に着手した。

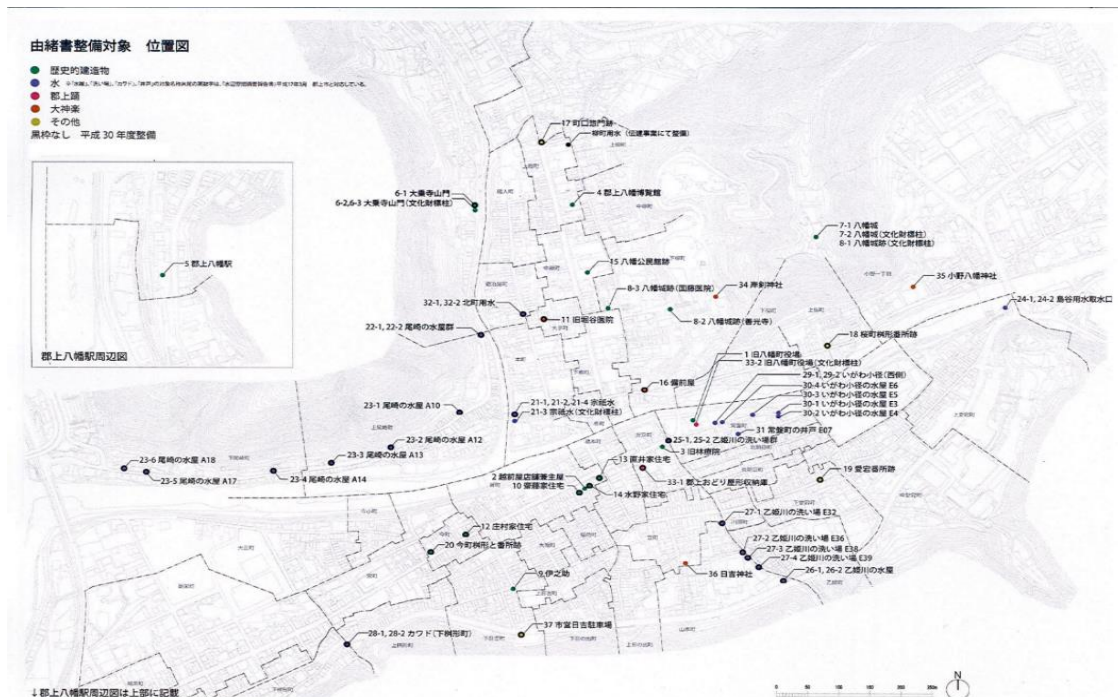
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☐計画どおり進捗している
☒計画どおり進捗していない

繰越事業となっているため、令和2年度まで事業期間を延長する必要がある。また、本事業を機に同様の意匠が統一的に広まるよう、今後は関係部署への周知と連携を図る必要がある。

状況を示す写真や資料等



▲全体整備計画 位置図



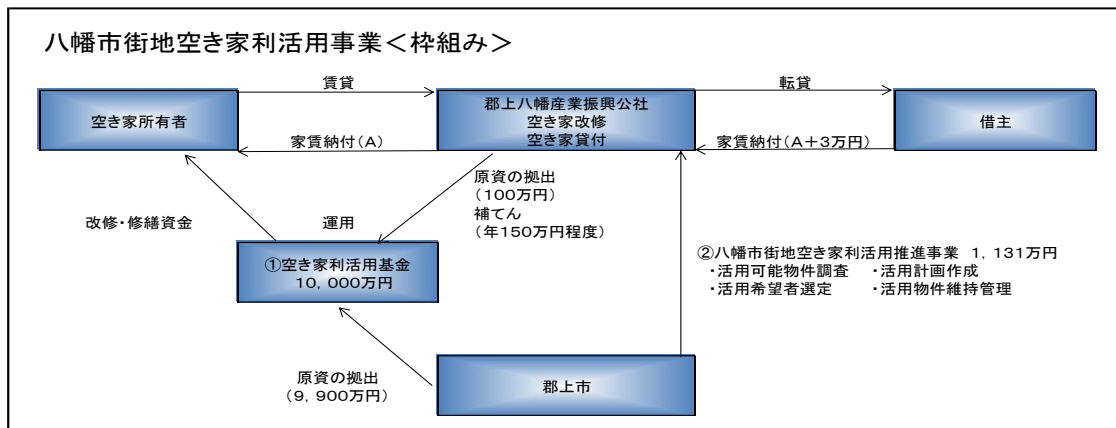
▲第一期工事の完成状況

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
空家利活用事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成25年度～平成29年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	郡上八幡市街地空家空店舗状況調査の結果を踏まえて、町並みを維持するための空家の利活用として、住宅の賃貸だけではなく、まちづくりと連携した様々な活動提案を支援する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<u>○リノベーション空家を活用した賃貸物件:3軒</u> <u>○空家を活用したゲストハウス宿泊実績:373件</u> <u>○空家家拝見ツアー参加者:86名(改修前空家10軒見学)</u> 郡上八幡市街地空家対策基金(100,000千円、市負担99,000千円)を活用し、(一財)郡上八幡産業振興公社「チームまちや」が各種事業を展開した。また、郡上市商工課で空き店舗改修補助を9件(うち、重点区域内7件)実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	今後も継続的に実施する事業であるため、平成30年度評価による協議会意見を反映し、平成29年度までであった事業期間を継続的事业とするため変更届を提出する。		

状況を示す写真や資料等



▲イベントパンフレット



▲空家利活用ツアーの様子



▲定着した空家利活用イベント「町家オイデナーレ2019」のチラシ

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
城下町交通体系検討調査			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成26年度～平成30年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業) ※(予定) 令和2年度～令和5年度:市単独事業		
計画に記載している内容	有識者と地元住民を交えて現状の交通課題と風致を考察し、よりよい交通体系を検討するとともに、その成果を推奨観光ルートとしてパンフレットに反映させる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
郡上市八幡町市街地交通対策協議会及び検討会を組織し、協議会(3回)、検討会(4回)を経て交通社会実験を実施し、その様子を動画撮影し分析すると共に市民及び来訪者に対するアンケート調査を実施した。その結果を受け、「郡上市八幡町市街地交通対策計画(案)」を取りまとめた。 社会実験では、住民説明会(1回)、地区回覧、ポスター・電光掲示等、混乱が生じないよう幅広い周知広報を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	交通対策計画の実施計画及び観光パンフレットへの反映は今後の展開となるため、引き続き、協議会、検討会を組織し、住民等の合意形成を進める必要があり、令和5年度まで事業期間を延長する。また、平成31年度までの支援事業名を追加した。		
状況を示す写真や資料等			
 ▲観光繁忙期(ピーク時)の混雑状況 車両と歩行者の混在する市街地内道路		 ▲観光繁忙期(ピーク時)の混雑状況 幹線道路から狭隘道路を経由した車両流入	
 ▲郡上市八幡町市街地交通対策協議会 有識者、各種団体、行政機関により組織		 ▲郡上市八幡町市街地交通対策検討会 住民代表により組織	
 ▲ポスター(周知案内用)		 ▲散策用ポケットパンフ	
		 ▲社会実験期間中の郊外駐車場から	
		○協議会開催日 8月29日、9月11日、3月12日 ○検討会開催日 8月29日、9月10日・27日、2月19日	

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目			現在の状況
伝統的しつらえ整備支援事業			☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
計画に記載している内容	郡上踊や大神楽等、伝統的な町並みの風情を保つしつらえ設置に係る費用に対して助成を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化財部局(社会教育課)では、平成28年度から郡上踊や大神楽の祭礼が開催される地区の各家庭の軒先に吊るされている提灯や、高張提灯等の修繕や購入を支援する制度を設けているが、実績はなかった。 ただし、郡上踊については観光課の郡上おどり運営委員会補助金から提灯等の装飾品購入を支援した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		(特記事項なし)	
状況を示す写真や資料等			



▲おどり流しで使われる高張提灯、弓張提灯(定期的な更新を支援)



▲PR用おどり提灯

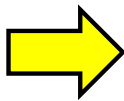
評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
祭礼活動及び用具整備支援事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	毎年4月中旬に開催される春祭りにおいて、大神楽は市街地を巡行する。核となる三つの神社の衣装や小道具等の購入修理や練習活動を、必要に応じて学識経験者等の指導・助言を得ながら支援することにより、活動の活性化につながり歴史的風致の維持及び向上に寄与する。		
定性的・定量的評価（自由記述）※定量的評価は可能な範囲で			
令和元年度は、郡上市の国県指定無形民俗文化財伝承支援事業を活用し、郡上八幡春まつりにおける岸劔神社、日吉神社、小野八幡神社の大神楽の活動を支援した。また、岐阜県文化財保護費補助金を活用し、日吉神社の衣装新調を支援した。更に、観光課の郡上おどり運営委員会補助金から郡上踊り保存会の衣装（浴衣）購入を支援した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		（特記事項なし）	
状況を示す写真や資料等			



▲新調前の袴



▲新調後の袴を着用した大神楽の様子(日吉神社)



▲新調した衣装(おどり浴衣)



▲郡上おどりの様子(オリジナル浴衣で揃える保存会員)

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
重点区域の文化遺産 記録作成・調査研究事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	文化財の保存活用に携わっている団体や地域組織と連携して、文化財や歴史的環境の記録保存と調査研究を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<u>企画展 5回 資料整理の人材養成講座 1回(10名) 館報の発行 1回</u> 本格運用2年目を迎えた郡上市歴史資料館では、昨年度に引き続き 資料整理の人材育成講座を開催し、新たに館報発行に取り組んだ。なお、企画展では重点区域内の話題を2件取り上げた。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	市内外の利用者増に向けて、地域に関する様々な資料の収集保管及び調査研究に加え、郷土の歴史文化を学ぶ講座や展示を行っていく。		
状況を示す写真や資料等			

▼大災害を乗り越えて・・・
「北町大火100年・伊勢湾
台風60年」展示の様子



▲資料整理の人材養成講座の様子



▲館報の発行



▲「郡上八幡城 模擬天守の建設」展示の様子

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和元年度
項目		現在の状況
重点区域の文化遺産 情報発信・人材育成事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
計画に記載している内容	ふるさとの歴史、文化、自然、産業等の魅力、価値とともに課題を学ぶ各種講座を開催し、風致を担う意識を醸成する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
<u>夏のオープンキャンパス(主催:NPO法人郡上八幡水の学校) 2日間(7月)</u> 大学と連携し、住民に対するヒヤリング調査を実施し、水の生業悉皆調査報告書を作成した。 <u>郡上おどり無料講習会(主催:郡上踊り保存会) 5日間(6月)</u> 郡上踊り保存会主催の講習会を開催し、踊り子の裾野拡大に努めた。 <u>郡上おどりお囃子講座(主催:八幡地域公民館) 前後期各5日間(前期:37名、後期:24名)</u> 生涯学習講座で郡上踊のお囃子講習会を開催し、担い手育成に寄与した。		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	学習・周知活動の継続による歴史的風致の継承。 児童、学生への啓発活動の実施。	
状況を示す写真や資料等		



▲NPO法人郡上八幡水の学校 夏のオープンキャンパス(令和元年7月27日～28日)より
(写真左)早稲田大学、法政大学と連携した水の生業悉皆調査の報告会の様子



▲郡上おどり無料講習会
(令和元年6月19日～23日)



▲郡上おどりと囃子講座
前期(令和元年4月25日～6月13日のうち5日間)
後期(令和元年11月27日
～令和2年1月30日のうち5日間)

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		評価対象年度	令和元年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
【テレビ報道】			
ゆく時代くる時代 ～平成最後の日スペシャル～ ※生中継	平成31年4月30日 ～令和元年5月1日	NHK(全国ネット)	
news ZERO 改元の瞬間スペシャル ※生中継		日本テレビ系列	
ダイドードリンコ日本の祭り 城下に三つの福が舞う 郡上八幡春まつり	令和元年5月25日	CBCテレビ	
【新聞報道】			
みこしや大神楽 盛大に 郡上八幡春まつりにぎわう	平成31年4月23日	中日新聞	
平成笑顔の大円団 ねぎらう声 名残の催し (郡上おどり)	令和元年5月1日	毎日新聞	
浴衣姿で「徹夜おどり」岐阜・郡上	令和元年8月14日	日本経済新聞	
越前屋 新たな交流拠点に	令和元年11月2日	岐阜新聞	
こいのぼり 冬の一泳ぎ 郡上本染鯉のぼり寒ざらし	令和2年1月21日	読売新聞	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的風致(水、郡上踊、大神楽)に関わる祭礼等行事、その担い手育成、町並み、人々の営みが多くのメディアに取り上げられ、本市の歴史まちづくりを市内外に発信することができた。 また、平成から令和への改元に合わせて開催された郡上踊行事が全国放送番組の生中継で取り上げられたことは、市民、郡上出身者、郡上ファンをはじめ幅広い層に対して話題となった。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし		反響の大きかった報道を受けた受入態勢の強化などもされており、今後も各分野で継続的な情報発信と受入態勢の整備に取り組む。	
状況を示す写真や資料等			
掲載終了			

項目

観光振興対策事業・観光施設整備事業

計画に記載
している内容

郡上市観光振興ビジョンで示す取り組みとも連動し、交流人口の一層の増大にも貢献できる取り組みを進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

平成30年度まで2年連続で減少傾向であった主要観光施設の入込客数について、令和元年(平成31年)度は八幡城が増加に転じ対前年比114%、郡上八幡博覧館は引き続き減少傾向にあり対前年比84%であった。

令和元年度には、観光庁の補助事業を活用し、多言語表記のデジタルサイネージ(電子情報板)を5施設に整備、八幡城にVR(バーチャルリアリティ、仮想現実)機器を導入し、観光施設の魅力向上を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり

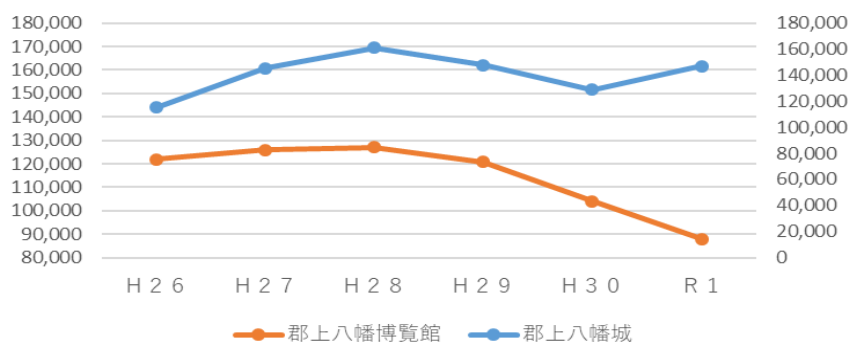
■計画の進捗に影響なし

令和2年当初から世界的に流行が始まった「新型コロナウイルス感染症」により、主要観光施設のみならず地域内で先行き不透明な状況が想定されるが、必要な観光振興対策および施設整備を推進する。

状況を示す写真や資料等

	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1
郡上八幡城	115,408	145,544	161,088	147,807	129,105	147,040
郡上八幡博覧館	121,959	125,959	127,003	120,680	104,099	87,837

主要観光施設入込客数



R 1 / H 2 6

+ 30,518人 127%

- 23,626人 72%

R 1 / H 3 0

+ 16,821人 114%

- 5,766人 84%

新たな観光振興ツールの導入 観光庁：観光振興対策事業(観光地の「まちあるき」の満足度向上整備支援事業)



主要観光施設へのデジタルサイネージ整備
(写真)八幡旧庁舎記念館への整備

(配備施設一覧)

郡上八幡旧庁舎記念館、郡上八幡駅、八幡城
郡上八幡博覧館、郡上市産業プラザ



(写真上)八幡城全景 (写真下)導入したVR機器

評価対象年度	令和元年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 郡上市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 書面会議により実施	
(コメントの概要) ・現状で着手に遅れが生じている「歴史的建造物に関する修理修景助成」は、課題と対応方針に則し、早急に事業の指針等の策定に取り組む必要がある。 ・住民生活に影響がある「城下町交通体系検討調査」については、社会実験結果及び交通対策計画案の十分な住民周知を図ると共に、意見を聴き、着実な合意形成を図られたい。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により直近の祭礼等は見送りが続いている状況ではあるが、伝統芸能(郡上踊、大神楽)への衣装、道具等の補助制度により、各団体では順調に更新が進んでいる。 ・近年、ワークショップへの参画機会が減っているため、必要に応じて積極的に活用されたい。 ・外国人観光客の増加等に伴い、空き家利用も増え、歴史まちづくりが進んでいただけに、新型コロナウイルス感染症の影響は残念でならない。しかしながら、今後に向けてソフト面を強化し、観光客が戻る時が来たら観光地としての魅力を発信できる体制を整えておくことが重要である。	
(今後の対応方針) ・未着手の事業(歴史的建造物に関する修理修景助成)については、計画後半での実施に向けて、令和2年度に着手する歴史的風致形成建造物ガイドライン策定に合わせ、着実に取り組みを進めることとする。 ・市民生活に影響がある事業(城下町交通体系検討調査等)については、十分な周知と合意形成を図り推進することとする。 ・新型コロナウイルス感染症が住民生活や地域経済に与える影響が計り知れない状況であるが、今後に向けてソフト面の強化を図り、改めて歴史を活かしたまちづくりの推進体制を整える。	